



広 報

みなみ

MINAMI Vol. 148

題字揮毫 加賀谷 雪泉

令和6年7月26日



「すべては自分次第」

校長 川浪 泰浩



日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。
今年度、鰯ヶ沢高

校より赴任して参りました川浪泰浩と申します。

四月一日、新任校長として弘前南高校の門をくぐり、眼前に広がる津軽の霊峰岩木山の素晴らしい姿に感動いたしました。そして、校舎に入ると何ともいわれぬ、明るくおしゃやかなデザインの校内、こんな環境で仕事ができることの恍惚と不安を持ちながら、改めて南高の活性化に向けて尽力することを心に誓いました。本校は昨年、令和五年度に創立六十周年の節目を迎え、さらなる学校の発展、魅力づくりに取り組んでいるところです。今後も地域の方々のご支援をいただきながら、地域と共にある学校として、歩み続けていきたいと考えています。また保護者の皆様には、様々な形でお手伝いをお願いすることがあるかと思えます。どうぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、サラダ記念日で有名な俵万智さんのブログに、子どもが宿題を少しやっつては「疲れた」と投げ出す息子。「遊んでいるときは全然疲れないのにね」とイヤミを言ったら「集中は疲れるけど、夢中は疲れないんだよ!」と言い返されました。という家庭でのエピソードが紹介されていました。

子ども達には、学校生活を是非、「夢中」になつて過ごして欲しいと思っています。そのためにはまず、何か「好き」なものを見つけてほしい。「好き」になると時間を忘れ「夢中」になつて取り組み、達成感が得られます。その積み重ねが自信につながり、ひいては自己肯定感の育成にもつながると私は考えます。

近年、グローバル社会を生きるための様々な取り組みが行われていますが、その反面で若者たちの自信のなさや自己肯定感

の低さが指摘されています。

青森県の「青少年の意識に関する調査」では、「自分のことが好きか」の問いに「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒の割合は、小学生が七八・二%、中学生六八・四%、高校生六五・四%でした。十年前と比べると高校生は十%も上がっていますが、それでもまだ世界と比べると低い数字です。

「あなたは、家族や社会の一員として世の中の役に立っていると感じることがありますか」の問いでは、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒の割合は、小学生が六四・六%、中学生六〇・三%、高校生五八・五%でした。高校生に進むにつれて自分自身の存在価値に自信がなくなっていると思います。

私は、子ども達の「自己肯定感を高める」ことが今一番の大きな課題と考えます。自己肯定感を高めていくためには、自らが何かに挑戦し、達成感を得ながら自信をつけていくことが大切です。また、家庭でのコミュニケーション（特に傾聴）もとても重要です。何でも話せる家族、一人でも抱え込まない誰にでも相談できる環境づくりが必要であると考えています。子どもたちの安心感とモチベーションを高めていくための大切な取り組みを積極的に行っていくべきと考えます。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

アメリカの心理学者ウィリアムジェームズの有名な言葉です。つまり、自分が普段どのような思考を持ち、その思考がどんな行動や選択をもたらすが、自分の人生を決定づけるという事です。

「全ては自分次第」。厳しくも聞こえるが、全てが自分次第ということとは、全ては自分で変えられるということです。意識の持ちようで、人生は変えられる。

「夢」を持ち、それに向かっていく南高生に期待しています。

育励会理事会 5月13日



機会は努力する者に訪れる

「夢に向かって未来を切り拓く南高生」を目指すという学校経営方針が学校運営協議会で承されました。そこで私から「機会は努力する者を訪れ、怠る者からは去っていく」という言葉を皆さんに贈ります。物事の成功や成就というものは、希望する時に希望通りの形で実現できるようなものではありません。それは自分の意志だけではなく、それを成り立たせるのに最も良い機会に恵まれることが必要で、それを活かして真剣に努力を続けてこそようやく実現できるものなのです。その機会というものは、自分で勝手に作り出せるものではなく、何時か巡ってくる性質のもので、漫然と手を拱いて待つていればよいというものではありません。そういう姿勢では機会が訪れそうな状況を敏感に感じ取るのが困難です。自分自身の受け入れ態勢を十分にするため常日頃から努力を続け、巡ってくる機会を有効に活かし、成功を目指して欲しいものです。学校生活において常に準備しよう。

育励会代表理事 尾崎 寿一

第1回PTA役員会 4月8日



すべては子どもたちのために。

父母と教師の会会長 谷淵 孝太

会員の皆様方には、日頃よりPTA活動にご理解・ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。本校は昨年創立60周年を迎え、今年度から新たな一歩を踏み出しました。その一歩を後押しし、次の10年に向け、子どもたちが安心して学び、健全に成長できる場を、守り支え続けていくことが重要であると認識しております。そのために、私たちPTAが、教育現場や地域はもとより、同窓会である「錫杖会」及び後援会である「育励会」と協働して諸問題に取り組み、いくつとで、自由・規律・友情の校訓のもと、個々の将来の目標達成のために頑張っている子どもたちを強力にバックアップして行く必要があります。時代の差はあれ、私たち大人が過ごしてきた「学校生活」とは全く違う経験をし、「コロナ禍」を必死に耐え抜いた、現代の子どもたちは本当に立派だと思います。その、日本の将来を背負って立つ子どもたちのため、引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

PTA総会 4月19日



新任の川浪泰浩校長
新しいことに挑戦していきたいと校長としてのビジョンを示しました。



令和5年度羽賀克順会長(右)と令和6年度谷淵孝太会長(左)
新旧会長ともに、「コロナ前に戻した活発な活動を」と熱く語りました。

各委員の紹介 総計75名

◎委員長 ○副委員長

広報委員会

三年次 福士みゆき 木村 七子 石田 祐子

○工藤 公子 ◎竹林ゆき乃 ○千葉江利子

二年次 小野 千晴 原 ことじ ○白戸 敏子

境 茜 寺田 友美

一年次 三浦 美保 吉沢 敏子 福井 奈緒

北山真美子 ○木村 紘子 ○出町あゆみ

村上 拓世 村上 麻美

文化委員会

三年次 ◎清水 由妃 齊藤 孝寿 バードセル久美子

谷淵 孝太 飯塚 忠明 佐波美奈子

○増田 陽子

二年次 齊藤日出里 三上美奈子 工藤 勝人

福田 靖子 小野可奈子

一年次 ○品川 恵子 工藤 孝幸 中村あい子

工藤 貴志 對馬 夕子

進路対策委員会

三年次 阿保 祥子 ◎矢野加奈子 工藤理砂子

石岡 民子 喜多山かおり

二年次 ○熊澤 一美 ○三浦 睦

新谷 孝義 佐々木真由美 三上圭一郎

一年次 福島 幸子 神 慶子 須藤 史子

白戸 順子 ○工藤 育子 佐々木雅教

川村 崇悦 芳賀奈穂子 長内 和生

生徒指導委員会

三年次 ○山崎 厚子 佐藤 由美 ◎久保田美樹

藤平奈津子 山崎リカ子 秋庭 亮子

二年次 唐牛 武志

下山 孝太 高木きよら 阿部 明美

一年次 前田真弥子 小田桐千花 坂本 紀子

田澤 和幸 三上 文 村上恵美子

○三上 政満 阿部由起子

七転八起

第三年次委員長 久保田美樹

何度失敗や敗北を喫しても屈することなく起き上がるさま！
マスク着用で迎えた入学式からあつという間に最終学年となりました。たくさん仲間と南高校で過ごした三年間を大切に、一人一人が希望する道へ進まれる事を願っております。最後まで諦めず、夢実現に向けて保護者も先生方の力をお借りして全力でサポートしたいと思っております。最後まで皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

全力二年次

第二年次委員長 工藤 勝人

南高生として二年目となり、学校生活にもだいぶ慣れて余裕が子供達も保護者の皆様方も出る頃だと思えます。高校生活の中で、何事においても二年が全力で過ごす時期です。学業、部活動、好きな事、全ての事に集中出来る時期でもあります。私達保護者としても全力でサポートして、しっかりと支えてあげたいと思います。各ご家庭でサポートの仕方は違うと思いますが、何卒宜しくお願いします。

今を楽しんで

第一年次委員長 川村 崇悦

入学して3カ月。学校には慣れましたが、新型コロナウイルスが5類に移行し、子ども達の学校の生活が活発になってきた様に思います。今しかできない南高校での勉強や部活動等楽しんでもらいたいと思います。子ども達の元気な姿にパワーをもらいながら、PTA活動をがんばっていきます。先生方、保護者の皆様ご協力よろしくお願いいたします。



新任者の紹介

一木 智美	岡本 洋	矢田 亜希子	三上 あつ子	中村 真紀	竹内 文子	下山 晃朋	山崎 里佳	山口 弓依	佐藤 杏莉	藤谷 勇仁	伊藤 紀子	太田 有美	木村 和奏
音楽	保健	地歴	数学	英語	英語	情報	数学	英語	国語	保健	養教	家庭	保健

校長 川浪 泰浩
事務長 中山 善貴

令和六年度 新任教職員



目標達成に向けて

第三年次主任 木村 智子

日頃から、60回生の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。3年次となり早くも3ヶ月が経ちました。生徒の皆さんは時間の使い方が昨年は大きく変わったのではないのでしょうか。自分の将来のために費やす時間が減っているはず。時間は有限でその扱いには主の手腕が問われます。それぞれの大切な日に、ベストパフォーマンスを発揮できるように、1ヶ月1週間そして1日単位と逆算して計画を実行してください。時間に振り回されずにコントロールできれば、時

目標を明確に

第二年次主任 工藤 恭一

「人は願望や目標があれば、それに向けて努力する」と言います。とてもシンプルで当たり前のような言葉ですが、別な言い方をすると、「願望や目標がなければ、努力することはない」という意味になるかもしれない。何もやらない、努力しない自分を想像すると、何か魂が抜けた無気力人間になったよう、ぞつとします。こうありたいという願望や目標がいかに大事であるか、改めて考えさせられます。

自己実現のためには

第一年次主任 小野健一郎

62回生の高校生活が始まりました。3年後、全員が希望の進路を実現できよう、全力で取り組んでいきましょう。そのためにはまず、ゆるぎない学力を養う必要があります。高校に入ると、この南高校の中間での成績で満足する生徒が一定数いますが、ライバルは隣、県下、全国にいることを忘れないように。今の学習量、内容で十分かどうか、検討してください。

間は皆さんの強い味方になります。今年度の目標である「自ら定めた進路目標に向かって一心に努力し続け、受験を通して人間の成長を図る」を実現するためには、知力はもちろん、受験を乗り越える体力と気力も必要です。それぞれの長所を生かして、これらをバランス良く身に付けてください。そして、協力してくださる皆さんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、充実した受験期を過ごしましょう。目標達成のためには、保護者の皆様との連携が不可欠です。年次一同最善を尽くしてまいりますので、引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

「目標を明確に」という人はいない、見つからない、ただ頭の中で考えてばかりで、一歩踏み出せないという人は、オープンキャンパスや公開講座、入試説明会、職場体験、そして総探の起業体験など様々な活動に参加し、外の世界をリアルに体感して欲しいと思うのです。きつと自分の思考や願望に刺激を与え、目標をより明確にする手助けをしてくれるはず。自分か、何を学びたいのか、何が楽しいのか、そして将来何をやりたいたいのかを自分に問いかけ、目標を少しずつ作り上げて欲しいと思います。今年1年を来年へのステップとなる充実した1年となるよう、皆さんの活動を見守っていきたくと考えています。

もう一つ、生徒全員の尊厳と権利が守られ、安心して学校生活を送られなければならない。生い立ち、性格、進路志望等々、全て人それぞれであり、自分と他人は異なっており、当然で、相容れない、何となく、などの理由で他の生徒の尊厳と権利を侵害することは許されません。権利が守られるためには、皆さん自身がルールを守る必要もあります。保護者の皆様におかれましては、これら点に際してご家庭で話題にしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

高校総体

1 学期 これまでの学校行事から



壮行式 5月30日

応援団幹部によるエール



選手宣誓
成田 岬 (男子バドミントン部主将)
校標旗授与
佐波 滯 (女子バドミントン部主将)



開会式入場行進 5月31日



報告会 6月4日

避難訓練

4月24日



地震を想定した避難訓練。皆真剣でしたが、高校生ともなると机の下に隠れきれない……

地域清掃ボランティア

5月31日



例年この時期、周辺地域のゴミ拾い活動をしています。今年もたくさんさんのゴミがありました。

朝の挨拶運動

6月12～13日



2日間で延べ20名の生徒指導委員会の方のご協力を得て実施。秋にも実施します。

最近の食堂事情

ヤシニョムチキン

日替わり丼 530円

W肉丼

ロコモコ丼

ソースカツ丼

日替わり定食(530円)は3時間目の休み時間までに予約購入

食券は当日のみ有効です!

今川焼

カスタードクリーム

ホイップチョコ

デザート 150円

揚げパン

ホイップサンド

チョコソースがけ

パンナコッタ

生徒会館(食堂)



5月13日、長らく私たちの空腹を満たしてくれた加賀谷明子さん、ご退職。大変お世話になりました。